

『臨床画像』

第1回 優秀論文賞・優秀編集賞 表彰式開催報告

8月25日(火)、オンライン形式にて、本誌 第1回 優秀論文賞・優秀編集賞の表彰式を行いました。

表彰式では、このたび優秀論文賞を受賞されました衣袋健司先生、優秀論文賞および優秀編集賞を受賞されました徳丸阿耶先生へ、『臨床画像』アワード選考委員会より記念楯を贈呈させていただきました。今回はオンライン上での表彰式という、初めての形式のため慣れない点もありましたが無事表彰式を開催できました。

『臨床画像』優秀論文賞

「腹膜・後腹膜の画像解剖」

衣袋健司 先生 (日本大学医学部附属板橋病院 放射線科)

[2019年2月号(Vol.35, No.2)特集「腹膜・後腹膜疾患の画像診断とIVR」に掲載]

この度は、第1回優秀論文賞に選出していただき大変光栄に存じます。今から25年ほど前、日々の仕事は読影という言葉通りに「影」を追っているだけで実体を見ていないことに不安を覚えました。そこで、当時の東京医科歯科大学・解剖学教室の佐藤達夫教授を訪ねたところ、週末に解剖する機会を得、その結果は日常の読影に反映させるよう努めてきました。本論文のテーマである「膜」は薄く実際の解剖を行わない限り実体がつかめられない構造物の一つです。今回、膜に関してまとめる機会をいただいた上に優秀賞もいただき、大変感慨深い気持ちです。



日本大学医学部附属板橋病院 放射線科 衣袋健司

『臨床画像』優秀論文賞

「画像診断医からの提言

— 認知症は画像診断名ではない、どう筋道を立てるか」

徳丸阿耶 先生 (東京都健康長寿医療センター 放射線診断科)

[2019年11月号(Vol.35, No.11)特集「これだけ知っておけば大丈夫！ な認知症画像診断」に掲載]

『臨床画像』優秀編集賞

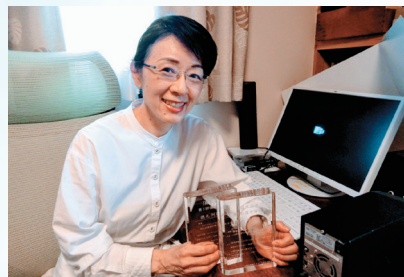
「特集 これだけ知っておけば大丈夫！ な認知症画像診断」

2019年11月号 (Vol.35, No.11)

徳丸阿耶 先生 (東京都健康長寿医療センター 放射線診断科)

『臨床画像』2019年度、優秀論文賞、優秀編集賞を、思いもかけずいただくこととなり恐縮いたしております。ゲストエディターとしてご推薦いただきました東北大学の高瀬 圭先生、また臨床、研究にご多忙の中、快くご寄稿くださいました著者の先生方へ賜ったものと存じております。心から謝意を申し上げます。

これだけ知っておけば大丈夫、とはとても言えない日々の読影を続けておりますが、その困難の積み重ねを皆様で共有できる場をいただき、『臨床画像』編集部の皆様、編集委員の皆様、読者諸氏にも重ねて御礼を申し上げます。有難うございました。



東京都健康長寿医療センター 放射線診断科 徳丸阿耶

弊誌では、本年度も、1年間に本誌に掲載された優秀な論文および特集を表彰するアワードを予定いたしております。今後ともよろしくお願い申し上げます。